



大賀文庫と大賀蓮のこと

大賀文庫をもっと活用したい・積年の課題であった。

二千年蓮を開花させたことで有名な、理学博士大賀一郎先生(1883～1965)の旧蔵書を頂戴したのは博士逝去後の昭和40年である。図書館は、図書を整理し、『大賀文庫目録』を作成し図書資料を保存してきた。しかし、およそ40年の歳月が流れ、その存在を知る人も少なくなり、資料の劣化も進みつつあった。蔵書はその人の頭脳をあらわすと言われるが、大賀博士の蔵書は、ご専門の植物学のみならず、古今東西の名著を網羅しており、博士の学問や人間性の深さ、広さを具現している。大賀文庫の内容は、冊数は約6000冊、雑誌類を加えると約7000冊。分野別には哲学、宗教、歴史、自然科学の図書が多い。内、植物学関係図書は約300冊。その他、およそ450冊の洋書と雑誌類がある。出版年代別には、昭和の戦前・戦中に出版された図書が約40パーセント、明治・大正期の図書も多い。

新中央図書館が開館する今年度、これら貴重な図書群を、皆様の財産として整備活用する大賀文庫整備事業がスタートする。図書のデータベース化を行い、図書館ホームページから資料が検索できるようにする他、博士の年譜や著作目録などの解説篇を付した『大賀文庫目録改

府中市立図書館長 栢木 あさ子

訂版』を発行し、文庫の概要をホームページで発信していく計画だ。また、資料保存のための処理を行い資料の延命を図る。昭和36年に開館した当館にとっては、大賀文庫が図書データに加わることにより、蔵書の厚みが一層増すと考えている。さらに、蓮に関連する図書を広く収集し、大賀文庫を中核として、植物、考古、美術などからみた蓮の文化を全国に発信していきたいと考えている。

図書は、整備し、活用されてはじめて価値がある。大賀先生によって集められた、1冊1冊の図書の来歴に思いを馳せ、府中に住み、これらの図書を読み研究に没頭された大賀博士の業績を顕彰したい。

最後に、この事業を機に図書館職員有志による、大賀蓮開花プロジェクトがスタートしたことをお伝えしたい。水と緑ネットワーク事業本部のご好意で、大賀蓮の根を分根していただき、現中央図書館のベランダに置いた睡蓮鉢では浮葉が出てきている。また、和歌山の大賀蓮保存会の阪本尚生氏から大賀蓮の実を頂戴し、実生からの育成をめざしている。いずれも大賀蓮の純粋種である。鉢植えではあるが、新中央図書館を私達職員の手で開花させた大賀蓮で飾ろうと頑張っている。

テーマ展示

「生まれ変わる中央図書館」

昭和36年の4月、旧府中町役場の建物に3000冊の図書を揃え、府中市立図書館は産声をあげました。昭和42年3月に、現在地である大国魂神社の境内に移転し、当時最新の設備をそなえた「府中市立中央図書館」として新たに開館しました。それ以来、皆様に長く親しまれ、ご利用いただけてきました。

最初の移転から40年になる今年の12月、旧市民会館の跡地に移転し、府中市立中央図書館は大きく生まれ変わります。

今回のテーマ展示では、「図書館」についてのさまざまな本を集めて展示します。平成19年5月1日から紅葉丘図書館でスタートし、以下のスケジュールで各地区図書館を回りますので、ぜひご覧ください。

○5月 紅葉丘図書館

○6月 桜通り図書館

○7月 武蔵台図書館

8月以降の予定はカウンターでお尋ねください。

☆中央図書館では5月～8月まで常設展示します。

展示期間中は府中市立図書館の歩みと、「図書館」そのもののうつり変わりを、様々な本とともに紹介した右の冊子を配布します。



読みそびれている本、ありませんか？ ～ちょっと前のベストセラー～

刊行当時は予約がいっぱいでリクエストをあきらめた。でもそのうちに…と読んで読みそびれてしまった本はありませんか？このコーナーでは、今なら待たずに読める「ちょっと前のベストセラー」をご紹介します。

今回は、『さおだけ屋はなぜ潰れないのか？ 身近な疑問からはじめる会計学』
山田真哉／著（光文社 2005.02）です。

「た～けや～さおだけ～」でお馴染みのさおだけ屋。しかし、さおだけ屋からさおだけを買っている人を見たことがあるだろうか？売れているように見えないが、長年、商売を続けているからには儲けはあるはず！？そのカラクリはどうなっているのだろうか？など、身近にあるさまざまな疑問を会計の観点からやさしく説明してくれる、2005年のベストセラー新書です。



読書キャンペーン

たびたびよんで本のたび～ノリノリのりもの～

4月23日は「子ども読書の日」です。図書館では子どもたちがたくさんの本と出会い、楽しく読書ができるように全館をあげて読書キャンペーンを行っています。期間中は本の世界を旅するためのパスポートを配布し、テーマの本を読むごとに、「のりもの」シール（全5種類）をプレゼントします。

パスポートにシールを貼って自分だけの
のりもの地図をつくろう！

▽期間 5月20日（日）まで

▽場所 中央・各地区図書館

▽内容 「のりもの」をテーマに集めた本の展示と貸出



4月23日は子ども読書の日



絵本だいすきおはなしキャラバン

▽日程・会場

○4月17日（火）美術館 講座室

○4月20日（金）是政文化センター
ミルキールーム

○4月23日（月）スクエア21・女性センター
会議室

○4月24日（火）子ども家庭支援センター「たち」

○4月25日（水）北保育所（園庭開放時に開催）

○4月27日（金）生涯学習センター 和室

▽時間 午前10時半～11時

▽内容 絵本の読み聞かせとわらべうた

▽対象 1・2歳児と保護者

▽定員 先着20組

▽申込み 直接会場へ

▽語り手 おはなしボランティアグループ
「絵本だいすき」

▽主催 府中市子ども読書活動推進連絡会

虹のおはなし会

▽日時 4月21日（土）午後1時半～3時半

▽会場 中央文化センター 和室

▽内容 絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングほか

▽対象 3歳以上／大人も可

▽定員 先着40人

▽語り手 おはなしボランティアグループ
「府中おはなしの虹」

▽申込み 中央図書館にて受付中



おはなし会の日程

【4月】

- 中央図書館「おはなしの森」
19日・26日（木）
- 武蔵台図書館 25日（水）

【5月】

- 中央図書館「おはなしの森」
10日・17日・24日・31日（木）
- 新町図書館 9日（水）
- 紅葉丘図書館 16日（水）
- 西府図書館 23日（水）
- 押立図書館 30日（水）

【6月】

- 中央図書館「おはなしの森」
7日・14日・21日・28日（木）
- 是政図書館 6日（水）
- 住吉図書館 13日（水）
- 桜通り図書館 20日（水）
- 片町図書館 27日（水）

【7月】

- 中央図書館「おはなしの森」
5日・12日・19日・26日（木）
- 四谷図書館 4日（水）
- 白糸台図書館 18日（水）

▽時間 午後3時半～4時

※中央図書館は、午後3時半～（3歳以上）
午後4時～（小学生）

★お知らせ★

4月から1・2歳児と保護者が対象の「ちいさい子のためのおはなし会」の開催回数が増えます。
・中央図書館：月1回→月2回 ・地区図書館：年3回→年4回
詳しい日程等は各図書館のカウンターでお問い合わせください。

・ 掲示板 ・

赤ちゃん絵本文庫

平成19年度子どもの読書活動優秀実践図書館・団体(者)
文部科学大臣表彰！

「赤ちゃん絵本文庫」とは…？

- 3・4か月児健康診査のため保健センターに来館する、赤ちゃんと保護者を対象にした活動です。
- 府中市子ども読書活動推進計画に基づき、平成16年5月から図書館と健康推進課（保健センター）、おはなしボランティアとの協働で活動しています。
- 絵本の読み聞かせや紹介をしています。
- 赤ちゃんの図書館利用カードを発行し、貸出を行っています。

「赤ちゃんに本がわかるの？」—理解するというより、ことばの響きや絵の色・形を楽しみます。読み聞かせると「あーあー」と声を立てたり、手足をピクッと動かしたりする赤ちゃんもいます。「こんどは、お家で読んであげてくださいね」と、その場で図書館利用カードを発行し、貸出をしています。これがきっかけとなって、図書館を繰り返し利用なさる方も増えています。



お問合せ

府中市立中央図書館

〒183-0023

府中市宮町3-1

TEL 042・362・8647

ホームページアドレス

<http://lib.city.fuchu.tokyo.jp/>

